

当院にて大腿骨近位部骨折で手術治療を受けられた患者さんへ

「当院における FLS チーム介入による入院期間の推移と今後の課題」への協力をお願い

当院では、下記の期間に大腿部近位部骨折で入院された患者さんの情報を用いて研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※FLS：骨折リエゾンサービス（Fracture Liaison Service）

研究対象：2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間に当院で入院し、手術治療を受けた大腿骨近位部骨折の患者さん。

研究期間：研究実施許可日～2025/8/31

研究目的・利用方法：

当院では二次性骨折予防継続管理料加算の開始に伴い、2022 年 8 月より FLS チームを発足し活動を開始した。FLS 介入の前後で大腿骨近位部骨折患者さんの入院日数と再骨折による入院患者数に変化があるかを調査し、今後の課題を明らかにすることを目的としています。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：研究実施許可後

研究に用いる情報の項目：

患者背景（年齢・性別・既往歴・治療歴・入退院情報・薬剤情報）

*この際、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人情報を特定するような情報は研究に使用しません。

外部への情報の提供：

個人が特定されないように情報を加工した上で学会発表などに使用する予定です。

研究への参加辞退を希望の場合：

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご承諾いただけない場合には研究対象としませんので以下の連絡先までお申し出ください。本研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において患者さんに不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反：

研究者および研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

研究責任者：

中部国際医療センター 看護部

職名：看護師 氏名：大島里奈

連絡先：

中部国際医療センター 看護部

電話番号：0574-66-1100

責任者氏名：大島里奈